

| 記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布） |                |                           |                  |                              |
|----------------------------|----------------|---------------------------|------------------|------------------------------|
| 月／日<br>（曜日）                | 担当課（室）<br>担当班名 | 電話番号<br>（直通）              | 発表者名<br>（担当主幹名）  | <del>発表</del><br>その他の先<br>配布 |
| 10／20<br>（金）               | 高校教育課<br>教育指導班 | 内線 5736<br>（078-362-9444） | 清瀬 欣之<br>（大角 謙二） |                              |

## 「数学・理科甲子園 2017」の開催について

小・中・高等学校を通じた総合的な理科及び算数・数学教育の充実を図るため、平成 18 年度から実施している「数学・理科甲子園」を開催します。

「数学・理科甲子園」は、平成 23 年度から「科学の甲子園全国大会兵庫県予選」と位置付けられ、来年 3 月に埼玉県さいたま市で開催される「第 7 回科学の甲子園全国大会」の兵庫県代表を選考する予選も兼ねています。

今年度は、兵庫県内の高等学校及び高等専門学校から 71 チーム 511 人の生徒が参加します。当日、応援など学校関係者に限らず、一般の方どなたでも観戦できます。

### （１）趣 旨

高校生が、数学、理科、科学技術等の知識、技能を用いて、日常生活と関連づけながら科学的に問題を解決するとともに、論理的に説明することによるプレゼンテーション等を行い、互いに切磋琢磨することにより、科学技術等に対する興味・関心、意欲・能力を高めることを目的としています。

また、本大会を「科学の甲子園全国大会」の兵庫県予選と位置付け、科学好きな生徒らが集い、競い合い、活躍できる場を構築し、提供することで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的としています。

県内の高校生及び高等専門学校生が、数学、理科、科学技術等の知識や技能を用いて、日常生活と関連づけながら問題解決能力を競い、優勝を目指します。

（２）主 催 兵庫県教育委員会

（３）後 援 甲南大学

（４）日 時 平成 29 年 10 月 28 日（土）10：00～17：00

（５）場 所 甲南大学 講堂兼体育館 〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

### （６）出場チーム

公立、私立高等学校、国立中等教育学校 71 チーム出場

1 校 1 チーム、チームは同じ学校の 1，2 年生の生徒 6～8 人で構成する。

### （７）表 彰

優勝 1 チーム、準優勝 1 チーム、3 位～5 位：各 1 チーム、奨励賞：若干チーム

優勝校は、平成 30 年 3 月 16 日（金）～19 日（月）に埼玉県さいたま市で開催される「第 7 回科学の甲子園全国大会」に兵庫県代表として出場する。

### （８）審査委員

大学教授等

## (9) 対戦方法

### ① 予選（筆記競技）

#### ア 内容

数学分野・理科分野の筆記試験

個人戦 8問（数学分野2問、理科分野6問）個人で問題を解く。

団体戦 8問（数学分野2問、理科分野6問）すべて5択問題で、協力して解く。

#### イ 方法

予選は個人戦、団体戦でのチームの総得点で競い、総得点の高いチームから上位16チームが本選に進む。なお、同点の場合は、団体戦の得点の高い方を優先する。

### ② 本選（実技競技）

#### ア 内容

16チームが、数学分野と理科分野の両方の課題に取り組む。

数学分野：数学に関する論理的な思考力、表現力を問う問題。

理科分野：理科に関する総合的な知識を用いて、課題工作等に取り組む問題。

#### イ 方法

数学分野及び理科分野の得点、予選の点数を考慮した得点の合計点の高い上位5チームが決勝に進む。

### ③ チャレンジマッチ

#### ア 内容

予選敗退チームが対象。1チーム3人55チーム出場。

数学と理科の問題を解いていく。解答は3択形式。

#### イ 方法

1題ごとに勝ち残り方式で実施し、1題間違えた段階で敗退し、上位チームを表彰する。ただし、チャレンジマッチから決勝には進めない。

### ④ 決勝（実技競技）

#### 内容

身近な現象の原理を使って、与えられた課題を解決し、さらに自分たちの考え方を実物投影機を使って説明する。1チーム6人5チーム出場。

## (10) 近年の成績

### ① 平成28年度（数学・理科甲子園2016）

優勝：灘高等学校、2位：神戸女学院高等学校

3位：県立尼崎稲園高等学校、白陵高等学校

### ② 平成27年度（数学・理科甲子園2015）

優勝：県立尼崎稲園高等学校、2位：県立宝塚北高等学校

3位：西宮市立西宮高等学校、神戸女学院高等学部

### ③ 平成26年度（数学・理科甲子園2014）

優勝：白陵高等学校、2位：西宮市立西宮高等学校

3位：神戸大学附属中等教育学校、県立宝塚北高等学校

## (11) 問合せ先

県教育委員会事務局高校教育課 TEL 078-341-7711（内線5743）FAX 078-362-4288